

平成22年 5月20日現在

研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2006～2009
 課題番号：18520277
 研究課題名（和文） アリストテレス『天界論』および『生成消滅論』のシリア語における
 伝承の文献学的研究
 研究課題名（英文） Philological study of the Tradition of Aristotle's *De caelo* and
De generatione et corruptione in Syriac
 研究代表者
 高橋 英海（TAKAHASHI HIDEMI）
 東京大学・総合文化研究科・准教授
 研究者番号：20349228

研究成果の概要（和文）：グレゴリオス・バルヘブラエウス著『英知の精華』天界論編および生成消滅論の校訂・翻訳（英訳）・註解作成を行い、バルヘブラエウスが執筆に当たって利用した出典の確認を通してアリストテレス『天界論』、『生成消滅論』の東方における伝承経路の解明に寄与した。

研究成果の概要（英文）：Steps were taken towards the elucidation of the manner in which Aristotle's *De caelo* and *De generatione et corruptione* were transmitted in Syriac and Arabic through the edition, translation and analysis of the books "On the Heaven" and "On Generation and Corruption" in Gregory Barhebraeus' *Butyrum sapientiae*.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2006年度	900,000	0	900,000
2007年度	900,000	270,000	1,170,000
2008年度	900,000	270,000	1,170,000
2009年度	700,000	210,000	910,000
年度			
総計	3,400,000	750,000	4,150,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学・各国文学・文学論

キーワード：西洋古典学、文献学、哲学、シリア学

1. 研究開始当初の背景

ギリシアの哲学・自然科学、特にアリストテレス哲学の後世への継承の研究においては、イスラーム圏における、主にアラビア語による伝承が重要な位置を占めるが、アラビア語による伝承はそれと密接に関わるシリア語

による伝承を抜きには語れない。しかしながら、アリストテレス哲学のシリア語における伝承の研究の中で、論理学の伝承については特にフランスの研究者を中心に近年いくつかの研究の進展が見られるものの、自然科学の伝承についての研究は大きく立ち遅れており、関連するシリア語文献の刊行および研

究が急務となっている。研究代表者の計画した研究はそのような必要に応じるものであり、ギリシア哲学・自然科学のオリエント地域における伝承の解明に寄与することが期待された。

2. 研究の目的

本研究においては、アリストテレス『天界論』および『生成消滅論』のシリア語による伝承について、その具体的な伝承経路およびギリシア語・アラビア語等による伝承との関係を解明することを主たる目的とした。特に、バルヘブラエウス著『英知の精華 (Hewat hekmta, Butyrum sapientiae)』天界論編および生成消滅論編の校訂・翻訳 (英訳) を行い、これに詳細な註解を加えた。本研究ではまたより広い範囲でギリシア哲学・科学のシリア語における伝承の研究および日本におけるシリア学の発展に寄与することを目的とした。

3. 研究の方法

『英知の精華』天界論編・生成消滅論編を、入手可能な写本 (Firenze, Laur. or. 83; London, British Library, Or. 4079, Or. 9380; Birmingham, Mingana syr. 310; Biblioteca Apostolica Vaticana, sir. 613; Baghdad, Chaldean Monastery, syr. 177; Manchester, John Rylands, syr. 44B; Princeton, Theological Seminary, syr. 25) を用いて校訂し、翻訳 (英訳) した。同時に、イブン・シーナー『治癒の書』をはじめとする関連文献との比較を行い、註解を付した。

4. 研究成果

グレゴリオス・バルヘブラエウス著『英知の精華』天界論編および生成消滅論の校訂・翻訳 (英訳)・註解作成の一連の作業を行った。現在までにシリア語テキストの校訂・英訳および註解の作成をほぼ終えており、今後索引などを作成した上で、2010 年度ないし 2011 年度中に Aristoteles Semitico-Latinus 叢書の一巻として Brill 社より刊行する予定である。註解作成の課程においては、バルヘブラエウスが『英知の精華』天界論編・生成消滅論編の執筆に際して、イブン・シーナー『治癒の書』の他にダマスカスのニコラオスによ

る『アリストテレス哲学概要』のシリア語訳などのイブン・シーナー以前の時代に成立したシリア語文献や、アブール=バラカート・アル=バグダーディー、ファフル=アッ=ディーン・アッ=ラージーなどのイブン=シーナー以降の時代のアラビア語文献を利用したことが確認された。特にニコラオス『アリストテレス哲学概要』のシリア語訳からの引用はニコラオスのギリシア語原典およびシリア語訳の該当箇所が散逸しているものであり、重要な発見である。このような知見の一部については 2008 年に開催された国際シリア学会 (X. Symposium Syriacum, Granada)、2009 年に開催された国際学会 “The Letter before the Spirit: The Importance of Text Editions for the Study of the Reception of Aristotle” (Den Haag) などの場で発表した。また、本研究の研究計画で掲げたギリシア哲学・自然科学のシリア語における伝承についての研究およびわが国におけるシリア学 (Syriac Studies, Syrologie) の発展への寄与という目的に合わせたより広い範囲でのシリア学研究にも従事し、関連分野での学会発表や事典項目の共同執筆なども行った。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 6 件)

- ① 高橋英海、「アレクサンドリアからバグダードへ」— 学知の経由地とイスラーム世界での学知の受容におけるその影響、『中世思想研究』、51 号 (2009 年)、132-142 頁 (査読なし)
- ② 高橋英海、「シリア語からアラビア語、そしてアラビア語からシリア語へ」、『東洋文化』、87 号 (2007 年)、1-21 頁 (査読なし)
- ③ Hidemi Takahashi, “Fakhr al-Dīn al-Rāzī, Qazwīnī and Bar Shakkō”, *The Harp*, vol. 19 (2006), p. 365-379 (査読なし)
- ④ Hidemi Takahashi, “„Ökumenismus“ unter den Syrern:

Gregorius Barhebraeus (1225/6-1286)", UTCP [University of Tokyo Center for Philosophy] Bulletin, vol. 7, 2006, p. 75-81 (査読なし)

[学会発表] (計 10 件)

- ① Hidemi Takahashi, "On the Shorter Syriac-Armenian Word List in Ms. Yale Syriac 9", Canadian Society for Syriac Studies Symposium IX, 2009 年 11 月, University of Toronto.
- ② Hidemi Takahashi, "What Remains of the Mathematical Sciences in Syriac – From Sergius of Resh'aina and Severus Sebokht to Barhebraeus and Patriarch Ni'matallah", International Symposium "Between Orient and Occident: Transformation of Knowledge", 2009 年 11 月, Deutsches Museum, München
- ③ Hidemi Takahashi, "Edition of the Syriac 'Encyclopedia' of Barhebraeus: With a Report on the Edition of Books *De caelo et mundo* and *De generatione et corruptione*", International Congress "The Letter before the Spirit: The Importance of Text Editions for the Study of the Reception of Aristotle", 2009 年 6 月, Huygens Instituut, Den Haag.
- ④ Hidemi Takahashi, "Barhebraeus, *Butyrum sapientiae*, De Caelo: First Soundings", Xum Symposium Syriacum, 2008 年 9 月, Seminario Diocesano San Cecilio, Granada.
- ⑤ Hidemi Takahashi, "Translation and Cultural Identity: the Case of Translations into and from Syriac", Symposium on "Popular Memory and the Formation of Identities: Lebanon as a Study Case", 2008 年 3 月, Lebanese American University, Beirut.
- ⑥ Hidemi Takahashi, "Translation and Reception of Secular Greek Learning in Syriac", ESF Exploratory Workshop on

Hellenism: Alien or Germane Wisdom?, 2007 年 11 月, Central European University, Budapest

[図書] (計 10 件)

- ① Hidemi Takahashi, "A *Mimro* on Maphrian Gregory Barṣawmo Ṣafi Bar 'Ebroyo by Dioscorus Gabriel of Barṭelli, Bishop of Gozarto d-Qardu", in Herman Teule et al. (ed.), *The Syriac Renaissance* (Eastern Christian Studies 9), Louvain: Peeters, 2010, p. 151-194.
- ② Hidemi Takahashi, "Between Greek and Arabic: The Sciences in Syriac from Severus Sebokht to Barhebraeus", in Haruo Kobayashi & Mizue Kato (edd.), *Transmission of Sciences: Greek, Syriac, Arabic and Latin*, Tokyo: Organization for Islamic Area Studies, Waseda University (WIAS), 2010, p. 16-39.
- ③ Hidemi Takahashi, "Gregorii Barhebraei carmen 'Quod praestantes in hoc mundo odio haberi solent'", 大芝芳弘・小池登編、『西洋古典学の明日へ 逸身喜一郎教授退職記念論文集』、知泉書館、2010年、p. 363-371.
- ④ Hidemi Takahashi, "A Treatise on Meteorology by Muḥammad b. Mūsā al-Ṭālishī (ms. Daiber Collection II, 82)", Wim Raven & Anna Akasoy (edd.), in *Islamic Thought in the Middle Ages. Studies in Text, Transmission and Translation in Honour of Hans Daiber* (IPTs 75), Leiden: Brill, 2008, p. 363-401.
- ⑤ Hidemi Takahashi, "Transcribed Proper Names in Chinese Syriac Christian Documents", in George A. Kiraz (ed.), *Malphono w-Rabo d-Malphone: Studies in Honor of Sebastian P. Brock*, Piscataway: Gorgias Press, 2008, p. 631-662. = 別冊: Analecta Gorgiana 127, Piscataway: Gorgias Press, 2009, 37 pp.
- ⑥ 高橋英海、「翻訳と文化間関係 — シリア

語とその周辺から」、岩波敦子、納富信留
編著、『精神史における言語の創造力と多
様性』、慶應義塾大学出版会、2008年、
83-110頁

〔その他〕

ホームページ等

- ① Hidemi Takahashi, “Aleppo”, “Amida”
等、計 15 項目, George A. Kiraz (ed.),
*WikiSyriaca: The Syriac Studies
Encyclopedia* (online version), Beth
Mardutho, 2008.

6. 研究組織

(1) 研究代表者

高橋 英海 (TAKAHASHI HIDE MI)

東京大学・大学院総合文化研究科・准教授

研究者番号：20349228

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：